



Kagawa Cyber Security Information

香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク通信Vol.60

サイバー犯罪の現状について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うテレワークの実施やキャッシュレス決済の普及など、サイバー空間が、日常生活を含む様々な活動を営む場となりつつある中、新たなサイバー犯罪やサイバー攻撃が国内外において発生している状況にあり、サイバー空間における脅威は、極めて深刻な情勢にあります。

1 検挙件数

罪名		年	H28	H29	H30	R1	R2
全国	不正アクセス禁止法違反		502	648	564	816	609
	コンピュータ・電磁的記録対象犯罪		374	355	349	436	563
	その他		7,448	8,011	8,127	8,267	8,703
	合計		8,324	9,014	9,040	9,519	9,875
香川県	不正アクセス禁止法違反		5	2	5	28	3
	コンピュータ・電磁的記録対象犯罪		0	4	5	7	2
	その他		140	124	127	96	120
	合計		145	130	137	131	125

(注) 警察では、サイバー犯罪を

- ① **不正アクセス禁止法違反**：他人のID・パスワードを無断入力してネットワークを利用する行為
(例：インターネットバンキング不正送金事犯など)
- ② **コンピュータ・電磁的記録対象犯罪**：サーバ等を実行行為の客体とする罪
(例：ウイルス添付の電子メールを送信する標的型メール攻撃など)
- ③ **その他の犯罪**：犯罪の構成要件に該当する行為についてインターネット等を利用した犯罪
(例：ネットオークションなどの商取引を装った詐欺など)

の3類型に分類しています。

2 主なサイバー犯罪の事例 (R2全国)

- 企業等を対象としたランサムウェア感染事案
11月、大手企業がランサムウェアに感染し、同企業が保有する個人情報等が窃取されて暗号化された上、当該情報を公開しないことと引き換えに取引に応じるように脅迫を受ける二重恐喝とみられるランサムウェア感染事案が発生
- スマートフォン決済サービスに係る不正振替事犯
9月、事業者が提供するスマートフォン決済サービスに関して、同社と業務提携する金融機関に開設された口座情報を不正に入手・連携し、不正な振替(チャージ)を行う事案を確認

3 相談件数（香川県）

内容 \ 年	H28	H29	H30	R1	R2
詐欺・悪徳商法に関する相談 (インターネット・オークション関係を除く)	422	432	403	371	356
迷惑メールに関する相談	176	152	354	549	584
名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談	92	63	137	169	124
不正アクセスによる被害・ネットワークセキュリティに関する相談	68	72	137	94	92
違法・有害情報に関する相談	47	48	49	52	45
インターネット・オークションに関する相談	49	22	41	50	41
その他	125	209	73	113	211
合計	979	998	1,194	1,398	1,453

4 主な相談事例

- 詐欺・悪質商法に関する相談
 - ・ショッピングサイトを騙る詐欺サイトやサポート詐欺に関する相談
- 名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談
 - ・SNSやネット掲示板での誹謗中傷相談
- 迷惑メールに関する相談
 - ・宅配業者を騙る偽ショートメッセージ等のフィッシングメールや架空請求メール相談

5 インターネットバンキングに係る不正送金事犯（全国）

項目 \ 年	H30	R1	R2
発生件数	322	1,872	1,734
被害額	約4億6,100万円	約25億2,100万円	約11億3,300万円

- インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数・被害額は、被害が急増した前年と比べて減少しているものの、発生件数は引き続き高い水準。
- 被害の多くは、前年から継続しているSMSや電子メールを用いて金融機関を装ったフィッシングサイトへ誘導する手口によるものと考えられる。

6 新型コロナウイルス感染症に関連するサイバー犯罪が疑われる事案（R2全国）

- 新型コロナウイルス感染症に関連するサイバー犯罪が疑われる事案として、令和2年中に都道府県警察から警察庁に報告のあった件数は887件であった。
- その内訳としては、詐欺が446件で全体の50.3%と最も多く、次いで不審メール・不審サイトが135件で全体の15.2%を占めている。

